

# 「嗜好品利用実態調査」結果

2014年8月

公益財団法人たばこ総合研究センター

一般財団法人 日本総合研究所

## I. 調査概要

### 1. 調査の目的・本資料の掲載内容

本調査は、個人の属性や価値観などによって、嗜好品（お茶、紅茶、コーヒー、酒、たばこ）の用いられ方や楽しみ方に、違いや共通点があるのかを探ることを目的として実施した。

本資料は、主に回答者の基本属性（性別、年代別）をもとに、クロス集計による基本分析を行い、その結果を取りまとめたものである。

### 2. 調査方法

本調査は、以下の方法により実施した。

#### ①調査期間

- ・2013年10月31日～11月3日

#### ②調査対象

- ・20代～60代の男女
- ・首都圏（1都3県。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）に在住。

#### ③調査方法

- ・Webによるアンケート調査

#### ④標本抽出法

- ・Web調査会社登録モニターより抽出。

#### ⑤サンプル数

- ・3,000名（内訳は右表参照。）
- ※男女別・年代別にサンプルを均等割り付け。

なお、実査は楽天リサーチ株式会社に委託して実施した。

調査対象・サンプル数

	男性	女性	合計
20代	300	300	600
30代	300	300	600
40代	300	300	600
50代	300	300	600
60代	300	300	600
合計	1,500	1,500	3,000

## II. 本資料の構成

### 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

- (1) お茶（飲料形態別）
  - ①単純集計
  - ②クロス集計：男女別
  - ③クロス集計：年代別
  
- (2) 紅茶（飲料形態別）
  - ①単純集計
  - ②クロス集計：男女別
  - ③クロス集計：年代別
  
- (3) コーヒー（飲料形態別）
  - ①単純集計
  - ②クロス集計：男女別
  - ③クロス集計：年代別
  
- (4) お酒（飲酒場所別）
  - ①単純集計
  - ②クロス集計：男女別
  - ③クロス集計：年代別
  
- (5) たばこ
  - ①単純集計
  - ②クロス集計：男女別
  - ③クロス集計：年代別

### 2. 嗜好品の摂取場面

- (1) 単純集計
- (2) クロス集計：男女別
- (3) クロス集計：年代別

### 3. 嗜好品を一緒に摂取する相手

- (1) 単純集計
- (2) クロス集計：男女別
- (3) クロス集計：年代別
- (4) クロス集計：主観的幸福度別

### 4. 嗜好品の楽しみ方

- (1) 単純集計
- (2) クロス集計：男女別
- (3) クロス集計：年代別

### Ⅲ. 基本分析結果（嗜好品の摂取状況）

#### 〔注〕

※本調査では、「お茶」、「紅茶」、「家飲み」、「外飲み」を以下のように定義している。

- お茶：緑茶、ウーロン茶、麦茶、ほうじ茶など
- 紅茶：紅茶、ハーブティなど
- 家飲み：自宅、家族・親族宅、友人宅など飲食店を除く場所で飲酒すること
- 外飲み：居酒屋などの飲食店で飲酒すること

※本調査では、「お茶」、「紅茶」、「コーヒー」の摂取頻度、摂取量について、3つの飲料形態に分けてたずねた。各区分は以下のとおりである。

- お茶：「茶葉」、「ティーバッグ、粉末茶」、「缶、ペットボトル、紙パック」
- 紅茶：「茶葉」、「ティーバッグ、粉末茶」、「缶、ペットボトル、紙パック」
- コーヒー：「レギュラーコーヒー」、「インスタントコーヒー、スティックタイプ」、「缶、ペットボトル、紙パック」

※本調査では、お酒の摂取量を以下のように定義している。

- 日本酒1合（180ml）  
＝ビール：500ml 缶（中瓶）1本／焼酎：25度（110ml）／ウイスキー：ダブル1杯（60ml）／ワイン：グラス2杯（240ml）

※本資料では、集計結果について統計的な検定（ $\chi^2$ 乗検定）を行い、有意差のある場合にはアスタリスクを用いて、次の基準でグラフ下に示した。

\*\*\*： $p < 0.001$ 、\*\*： $p < 0.01$ 、\*： $p < 0.05$

※本資料では、飲酒場所ごとにお酒の摂取頻度を問う質問で、「(家または外で)ほとんど飲まない／全く飲まない(家飲みまたは外飲みをしない)」を選択した回答者が、以降の質問において「飲酒している」ことがうかがえる回答がみられたため、これらの回答は「無回答」として集計した。

※本資料では、単数回答、複数回答を以下のように記載している。

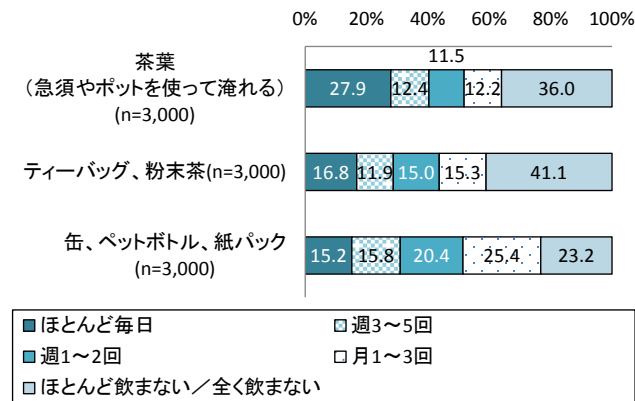
- 単数回答：SA
- 複数回答：MA

1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量  
 (1) お茶 (飲料形態別) (単純集計)

①摂取頻度

・お茶の摂取頻度 (飲料形態別) をみると (「ほとんど飲まない/全く飲まない」を除く)、「茶葉」および「ティーバッグ、粉末茶」では「ほとんど毎日 (27.9%、16.8%)」が、「缶、ペットボトル、紙パック」では「月1~3回 (25.4%)」が最も多い。

【摂取頻度 (お茶)】 (SA)

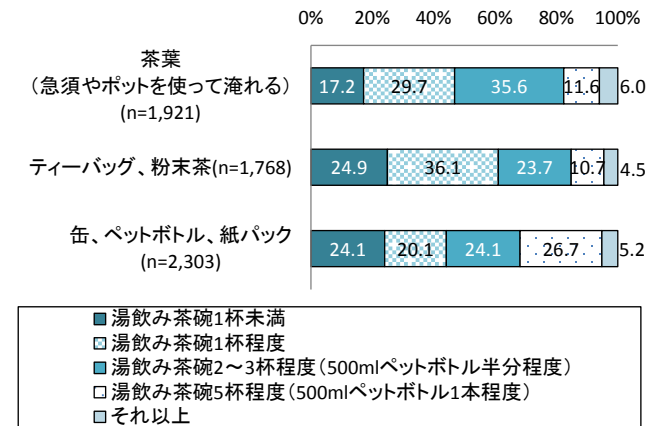


②摂取量

〔月に1~3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕

・お茶の1日あたりの平均摂取量 (飲料形態別) をみると、「茶葉」では「湯飲み茶碗2~3杯程度 (35.6%)」、「ティーバッグ、粉末茶」では「湯飲み茶碗1杯程度 (36.1%)」、「缶、ペットボトル、紙パック」では「湯飲み茶碗5杯程度 (500ml ペットボトル1本程度) (26.7%)」が最も多い。

【1日あたりの平均摂取量 (お茶)】 (SA)

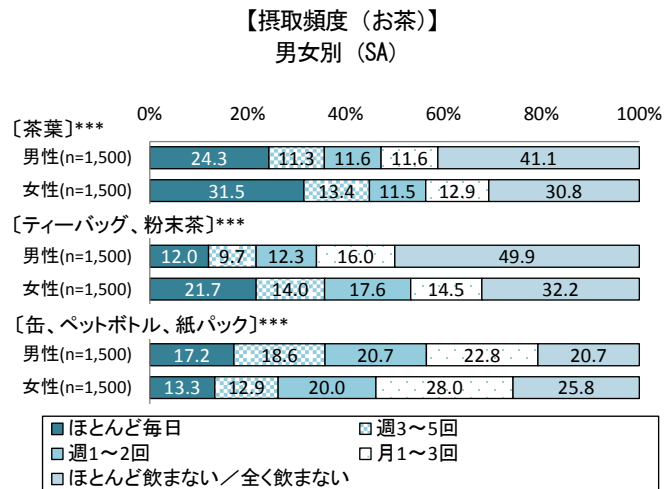


# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

## (1) お茶（飲料形態別）（クロス集計：男女別）

### ①摂取頻度

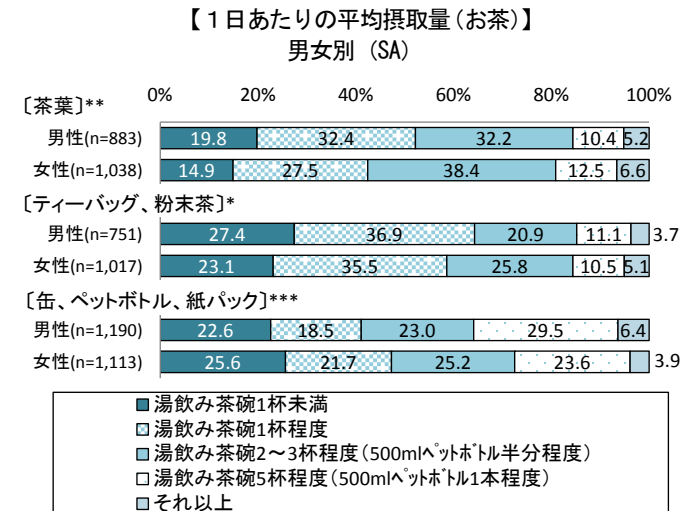
・お茶の摂取頻度（飲料形態別）を男女別で見ると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、男性は女性と比較して、「缶、ペットボトル、紙パック」での摂取頻度が高く、女性は男性と比較して「茶葉」や「ティーバッグ、粉末茶」でお茶を飲む頻度が高い。



### ②摂取量

【月に1~3回以上、お茶を飲むと回答した人について】

・お茶の1日あたりの平均摂取量（飲料形態別）を男女別で見ても、摂取頻度と同様のことがいえる（男性は女性と比較して、「缶、ペットボトル、紙パック」での摂取量が多く、女性は男性と比較して「茶葉」や「ティーバッグ、粉末茶」での摂取量が多い）。



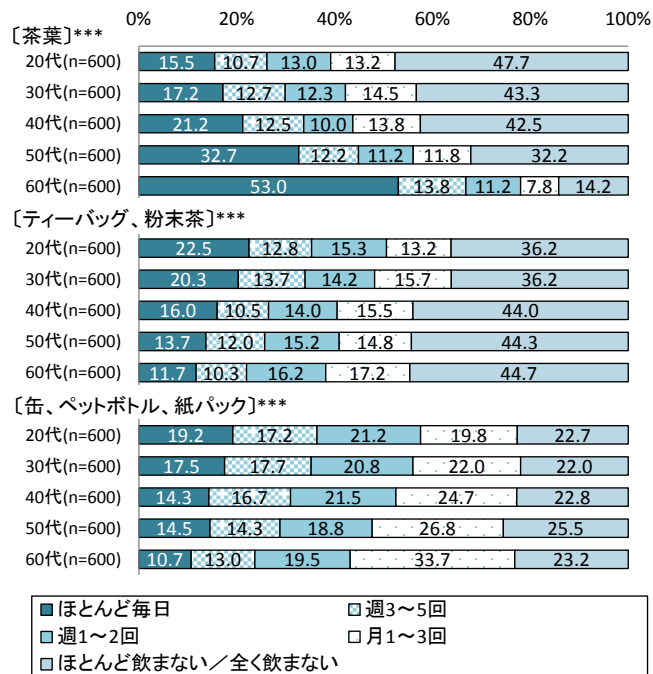
# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

## (1) お茶(飲料形態別)(クロス集計:年代別)

### ①摂取頻度

- お茶の摂取頻度(飲料形態別)を年代別で見ると(「ほとんど飲まない/全く飲まない」を除く)、年代が高いほど「茶葉」での摂取頻度が高く、60代の66.8%が「週3~5回」以上、「茶葉」でお茶を飲んでいる。
- 年代が低いほど「ティーバッグ、粉末茶」および「缶、ペットボトル、紙パック」で、お茶を飲む頻度が高い。

【摂取頻度(お茶)】  
年代別(SA)

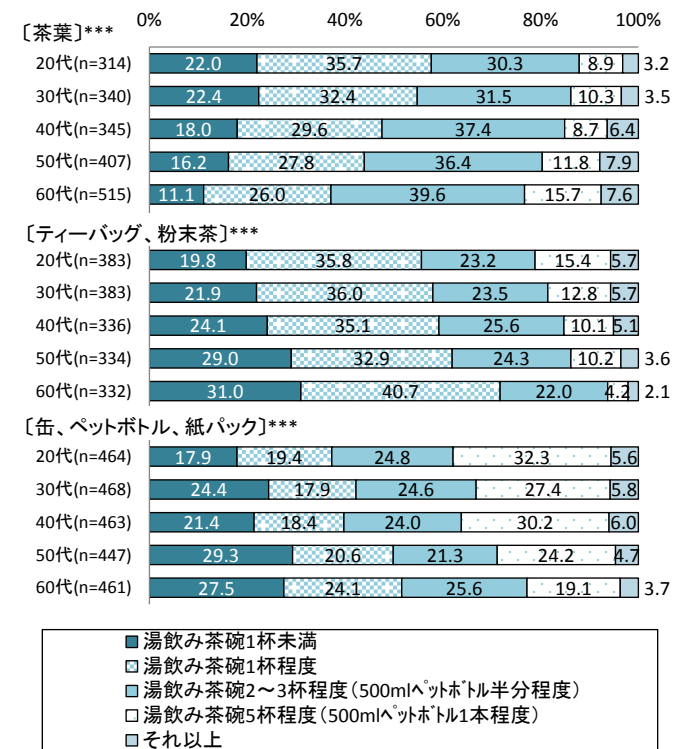


### ②摂取量

【月に1~3回以上、お茶を飲むと回答した人について】

- お茶の1日あたりの平均摂取量(飲料形態別)を年代別でも、摂取頻度と同様のことがいえる(「茶葉」については、年代が高いほど1日あたりの平均摂取量が多い。一方、「ティーバッグ、粉末茶」、「缶、ペットボトル、紙パック」については、年代が低いほど1日あたりの平均摂取量が多い傾向にある。)

【1日あたりの平均摂取量(お茶)】  
年代別(SA)

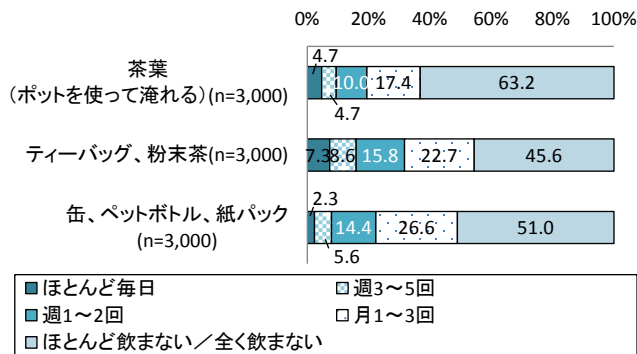


1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量  
 (2) 紅茶 (飲料形態別) (単純集計)

①摂取頻度

・紅茶の摂取頻度 (飲料形態別) をみると (「ほとんど飲まない/全く飲まない」を除く)、いずれの飲料形態でも「月 1~3 回」が最も多い(17.4%、22.7%、26.6%)。

【摂取頻度 (紅茶)】 (SA)

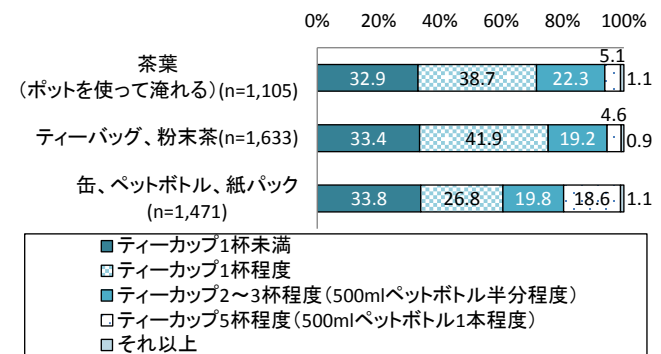


②摂取量

〔月に1~3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕

・紅茶の1日あたりの平均摂取量 (飲料形態別) をみると、「茶葉」と「ティーバッグ、粉末茶」では、「ティーカップ1杯程度 (38.7%、41.9%)」が多い。「缶、ペットボトル、紙パック」で最も多いのは「ティーカップ1杯未満 (33.8%)」だが、「茶葉」および「ティーバッグ、粉末茶」と比較して、「ティーカップ5杯程度 (500ml ペットボトル1本程度)」の割合も高い (18.6%)。

【1日あたりの平均摂取量 (紅茶)】 (SA)



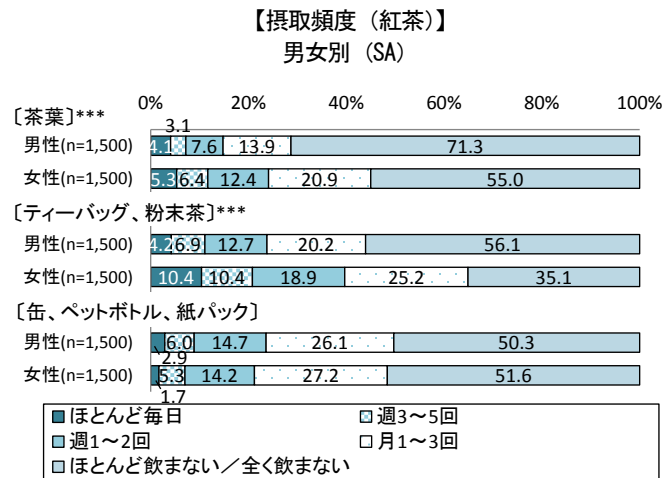


# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

## (2) 紅茶（飲料形態別）（クロス集計：男女別）

### ①摂取頻度

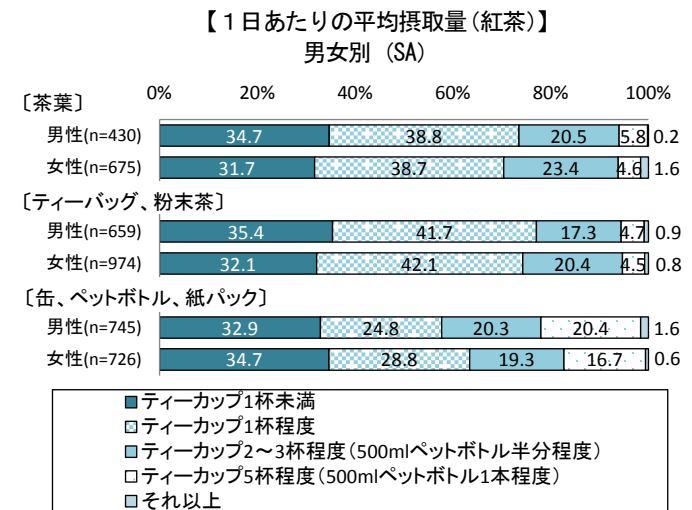
・紅茶の摂取頻度（飲料形態別）を男女別で比較すると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、男性は「缶、ペットボトル、紙パック」で、女性は「茶葉」、「ティーバッグ、粉末茶」で、紅茶を飲む頻度が高い（「缶、ペットボトル、紙パック」では、統計的な有意差はない）。



### ②摂取量

【月に1~3回以上、紅茶を飲むと回答した人について】

・紅茶の1日あたりの平均摂取量（飲料形態別）に男女別での大きな違いはみられない。

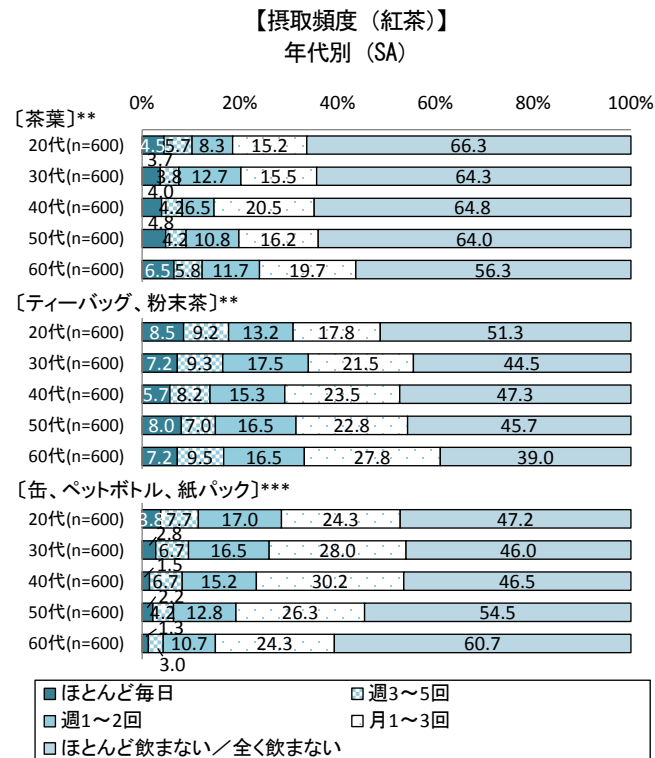


# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

## (2) 紅茶 (飲料形態別) (クロス集計：年代別)

### ① 摂取頻度

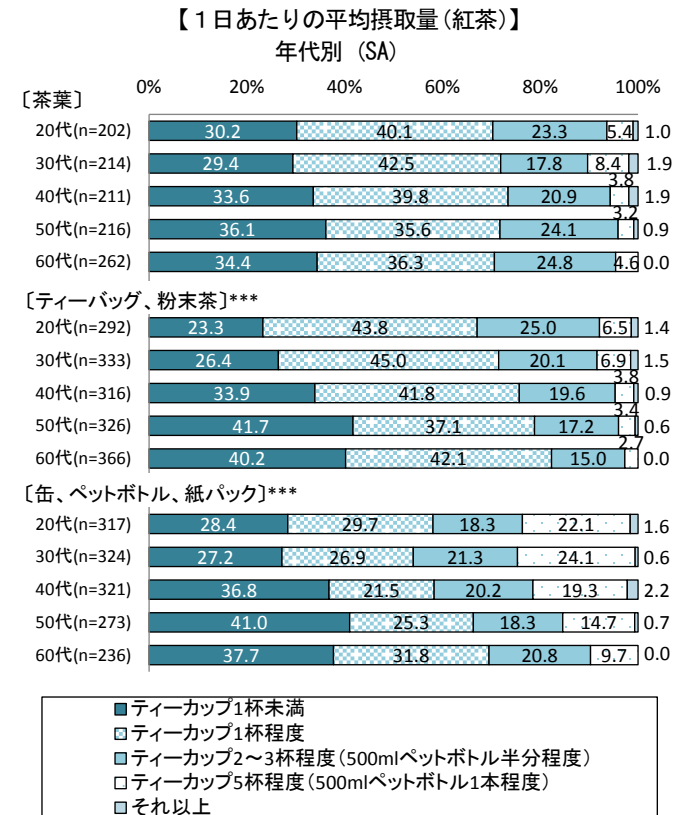
・紅茶の摂取頻度 (飲料形態別) を年代別でみると (「ほとんど飲まない / 全く飲まない」を除く)、年代が高いほど「缶、ペットボトル、紙パック」で紅茶を飲む頻度は低い。



### ② 摂取量

【月に1~3回以上、紅茶を飲むと回答した人について】

・紅茶の1日あたりの平均摂取量 (飲料形態別) は、「茶葉」については、年代にかかわらず、「ティーカップ1杯未満」と「ティーカップ1杯程度」の割合が高い。「ティーバッグ、粉末茶」については、年代が高いほど1日あたりの平均摂取量は少なく、「缶、ペットボトル、紙パック」でも同様の傾向がみられる。

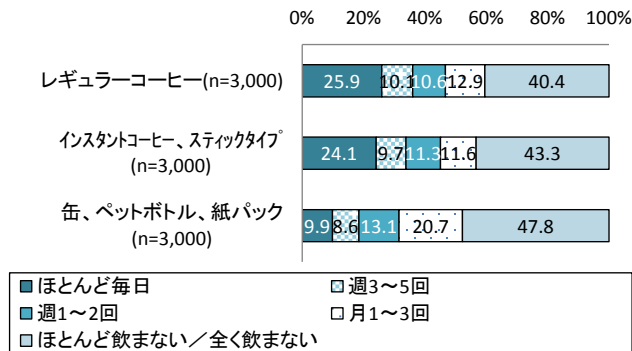


1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量  
 (3) コーヒー（飲料形態別）（単純集計）

①摂取頻度

・コーヒーの摂取頻度（飲料形態別）をみると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、「レギュラーコーヒー」および「インスタントコーヒー、スティックタイプ」では「ほとんど毎日（25.9%、24.1%）」、「缶、ペットボトル、紙パック」では「月1～3回（20.7%）」が最も多い。

【摂取頻度（コーヒー）】（SA）

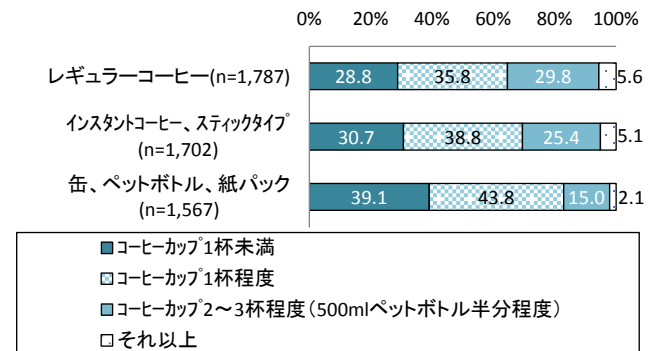


②摂取量

〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕

・コーヒーの1日あたりの平均摂取量（飲料形態別）は、いずれの飲料形態でも「コーヒーカップ1杯程度（35.8%、38.8%、43.8%）」が最も多い。

【1日あたりの平均摂取量（コーヒー）】（SA）

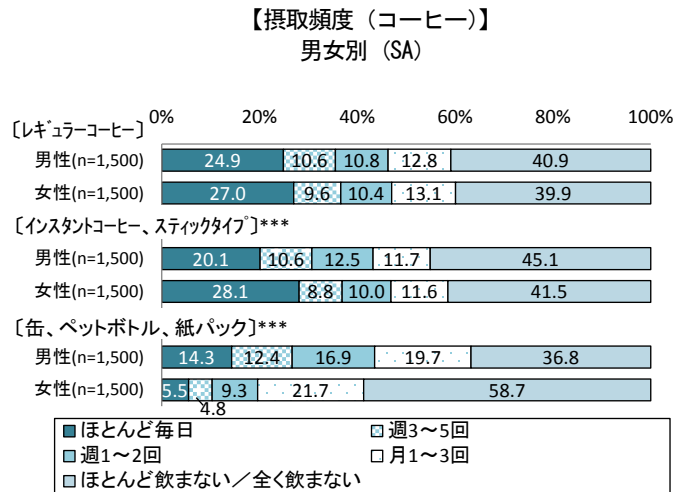


# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

## (3) コーヒー（飲料形態別）（クロス集計：男女別）

### ①摂取頻度

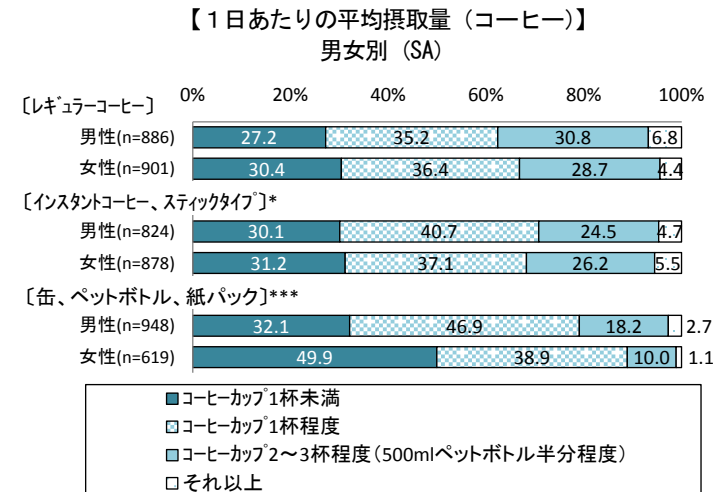
- コーヒーの摂取頻度（飲料形態別）を男女別で比較すると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、「レギュラーコーヒー」による摂取頻度に、男女差はみられない。
- また、男性は「缶、ペットボトル、紙パック」で、女性は「インスタントコーヒー、スティックタイプ」でコーヒーを飲む頻度が高い。



### ②摂取量

〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕

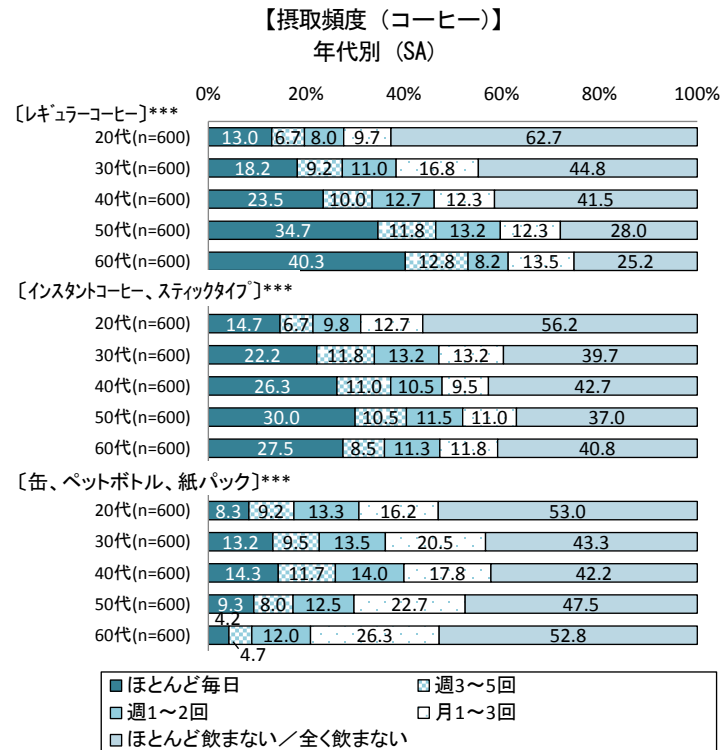
- コーヒーの1日あたりの平均摂取量（飲料形態別）は、「レギュラーコーヒー」および「インスタントコーヒー、スティックタイプ」での摂取量に、男女差はほとんどみられない。
- 「缶、ペットボトル、紙パック」については、男性の方が女性よりも摂取量が多い。



# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取 (3) コーヒー（飲料形態別）（クロス集計：年代別）

## ①摂取頻度

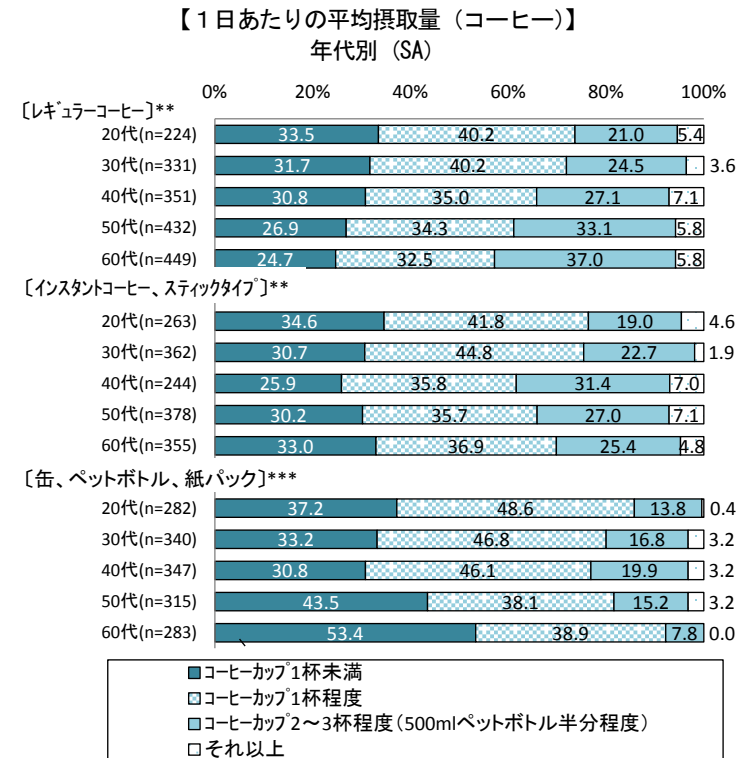
- ・コーヒーの摂取頻度（飲料形態別）を年代別でみると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、年代が高いほど、「レギュラーコーヒー」での摂取頻度が高い。
- ・また、「インスタントコーヒー、スティックタイプ」も、年代が高いほど摂取頻度が高い傾向にある。



## ②摂取量

【月に1~3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について】

- ・コーヒーの1日あたりの平均摂取量（飲料形態別）は、摂取頻度と同様に、「レギュラーコーヒー」は、年代が高いほど1日あたりの平均摂取量が多い。
- ・「インスタントコーヒー、スティックタイプ」および「缶、ペットボトル、紙パック」については、他の年代と比較して、40代の摂取量が最も多い。

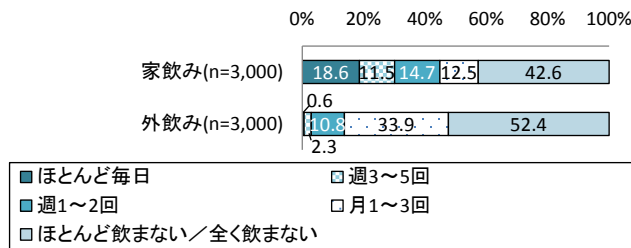


1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量  
 (4) お酒（飲酒場所別）（単純集計）

①摂取頻度

- お酒の摂取頻度（飲酒場所別）をみると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、「家飲み」では「ほとんど毎日（18.6%）」、「外飲み」では「月1～3回（33.9%）」が最も多い。
- 飲酒場所別に「週3～5回」以上、お酒を飲んでいる人の割合は、「家飲み」が30.1%、「外飲み」は2.9%となっている。

【摂取頻度（お酒）】（SA）

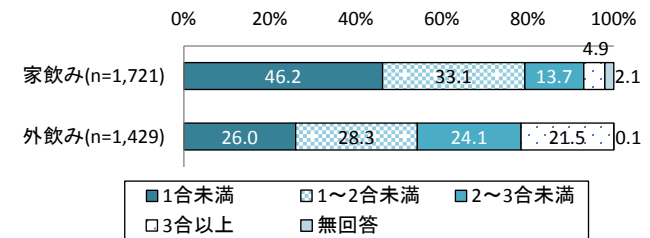


②摂取量

〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

- お酒の1日あたりの平均摂取量（飲酒場所別）をみると、「家飲み」では「1合未満（46.2%）」が最も多い。
- 「外飲み」では「1～2合未満（28.3%）」が最も多いが、「家飲み」と比較すると、摂取頻度は少ない（左記参照）ものの、摂取量は多いことがうかがわれる。

【1日あたりの平均摂取量（お酒）】（SA）

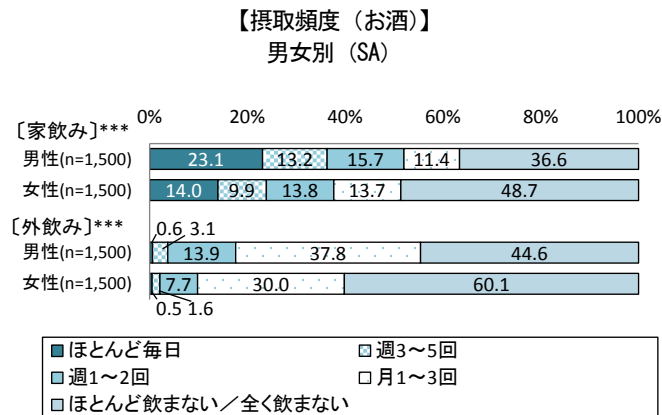


# 1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量

## (4) お酒（飲酒場所別）（クロス集計：男女別）

### ①摂取頻度

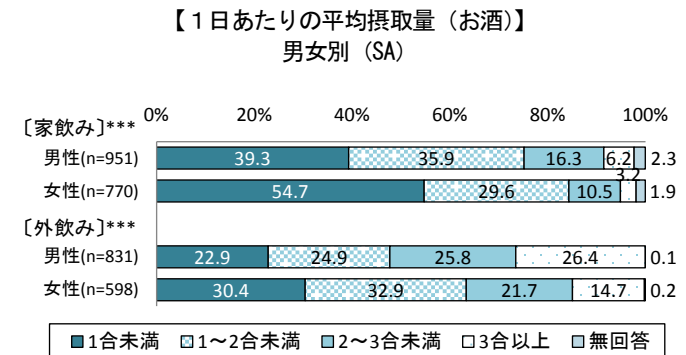
- ・お酒の摂取頻度（飲酒場所別）を男女別で比較すると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、男性は「家飲み」、「外飲み」ともに、女性と比べてお酒を飲む頻度が高い。



### ②摂取量

〔月に1~3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

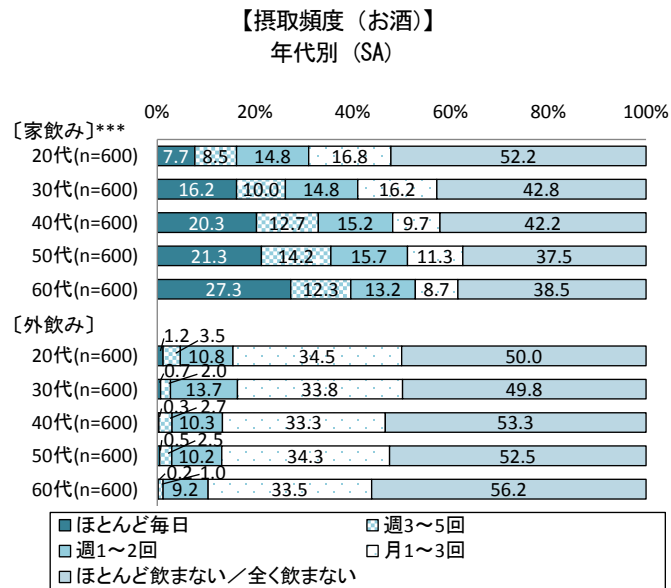
- ・お酒の1日あたりの平均摂取量（飲酒場所別）は、「家飲み」、「外飲み」ともに、男性の方が女性よりも摂取量が多い。
- ・飲酒場所別に男女の摂取量をみると、「家飲み」では、男女ともに「1合未満（39.3%、54.7%）」や「1~2合未満（35.9%、29.6%）」という回答が多い。
- ・「外飲み」では、男女ともに「家飲み」と比較して摂取量が多い。



1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量  
 (4) お酒（飲酒場所別）（クロス集計：年代別）

①摂取頻度

・お酒の摂取頻度（飲酒場所別）を年代別で見ると（「ほとんど飲まない／全く飲まない」を除く）、「家飲み」については、年代が高いほど、摂取頻度が高い。「外飲み」については、年代による大きな違いはみられない。

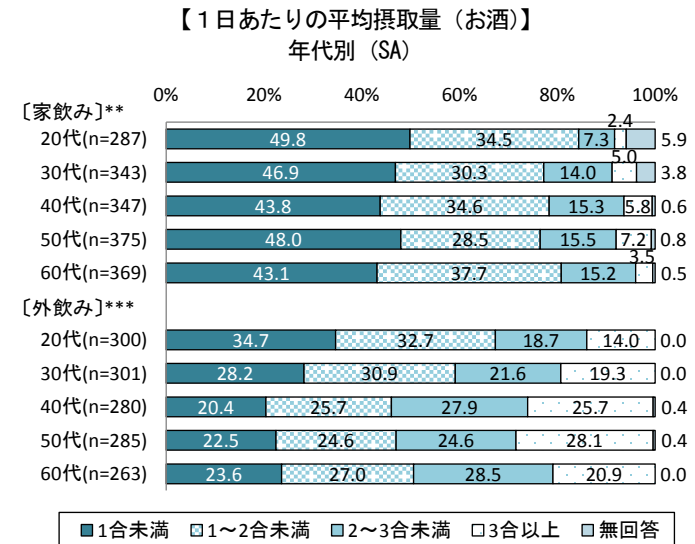


②摂取量

〔月に1~3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

・お酒の1日あたりの平均摂取量（飲酒場所別）は、「家飲み」、「外飲み」いずれにおいても、年代が高いほど、摂取量が多い傾向にある（いずれも60代を除く）。

・また、「外飲み」では、「家飲み」と比較して摂取量が多いのは全年代に共通している。



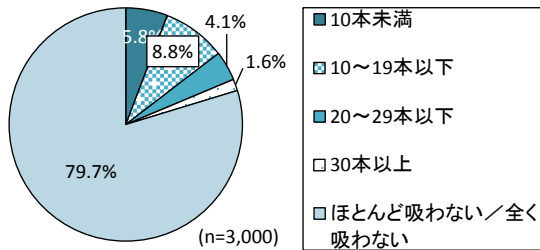


1. 嗜好品の摂取頻度・摂取量  
(5) たばこ (単純集計・クロス集計)

①喫煙本数 (単純集計)

・たばこの1日の喫煙本数は、「ほとんど吸わない/全く吸わない」が79.7%となっている。喫煙者のみに限って1日の喫煙本数をみると、「10～19本以下 (8.8%)」が最も多い。

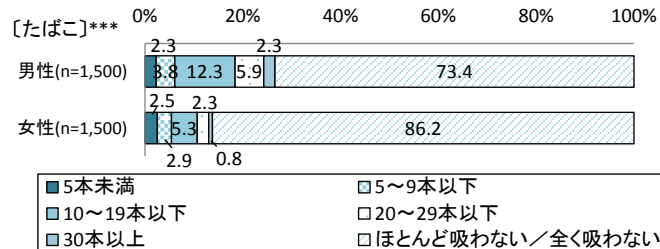
【1日の喫煙本数 (たばこ)】(SA)



②男女別 (クロス集計)

・男女別でみると、男性の方が喫煙本数が多く、「5本未満」、「5～9本以下」については、男女間で大きな違いはみられないが、「10～19本以下」、「20～29本以下」、「30本以上」の割合は、男性の方が高い。

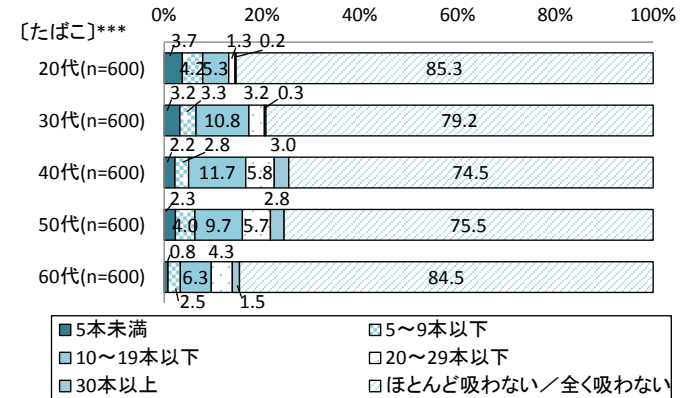
【1日の喫煙本数 (たばこ)】  
男女別 (SA)



③年代別 (クロス集計)

・年代別でみると、他の年代と比較して、30代から50代は「10～19本以下」、「20～29本以下」の割合が高く、20代と60代は「ほとんど吸わない/全く吸わない」が、他の年代と比べて高い。

【1日の喫煙本数 (たばこ)】  
年代別 (SA)



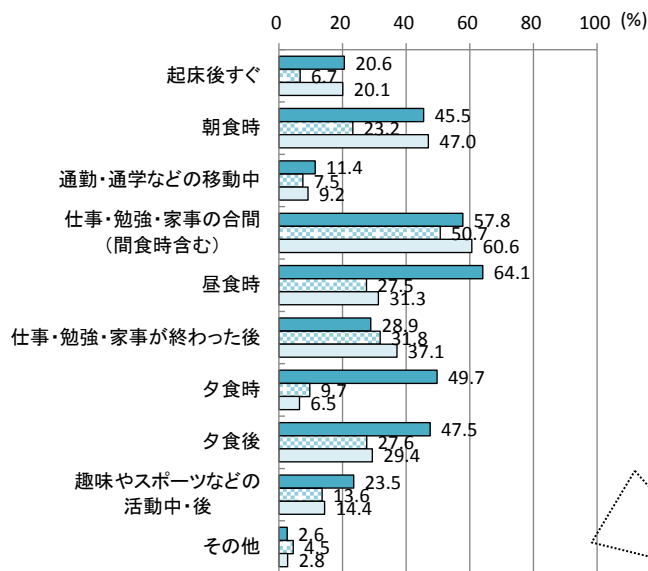
## 2. 嗜好品の摂取場面

### (1) 単純集計

〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕  
 〔たばこを「ほとんど吸わない／全く吸わない」と回答した人を除く回答者について〕

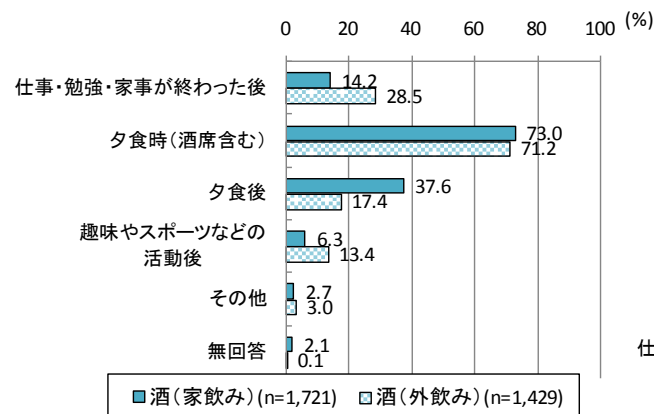
- ・お茶、紅茶、コーヒーを飲む場面についてみると、お茶では「昼食時 (64.1%)」が、紅茶とコーヒーでは「仕事・勉強・家事の合間 (50.7%、60.6%)」が最も多い。
- ・第1位から第3位をみても、お茶は朝昼夕を問わず、食事の場面で、紅茶とコーヒーは、仕事や勉強、家事の合間や終わった場面で多く飲まれている。コーヒーについては、「朝食時」に飲んでいる割合も高い (47.0%)。
- ・お酒を飲む場面について、「家飲み」と「外飲み」とで分けてみると、「家飲み」、「外飲み」いずれも、「夕食時 (酒席含む) (73.0%、71.2%)」が最も多い。
- ・喫煙する場面については、「夕食後 (76.7%)」が最も多く、「昼食後 (73.4%)」、「仕事・勉強・家事の合間 (69.8%)」、「仕事・勉強・家事が終わった後 (65.2%)」が続いている。

【嗜好品の摂取場面 (お茶、紅茶、コーヒー)】(MA)



■お茶(n=2,781) ■紅茶(n=2,176) ■コーヒー(n=2,547)

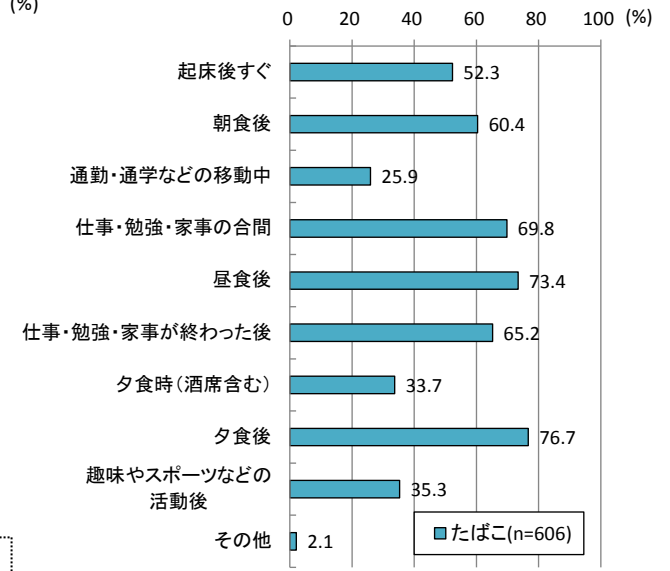
【嗜好品の摂取場面 (お酒)】(MA)



お茶、紅茶、コーヒーの摂取場面の順位

	お茶	紅茶	コーヒー
第1位	昼食時 (64.1%)	仕事・勉強・家事の合間 (50.7%)	仕事・勉強・家事の合間 (60.6%)
第2位	仕事・勉強・家事の合間 (57.8%)	仕事・勉強・家事が終わった後 (31.8%)	朝食時 (47.0%)
第3位	夕食時 (49.7%)	夕食後 (27.6%)	仕事・勉強・家事が終わった後 (37.1%)
(参考)	朝食時 (45.5%)	昼食時 (27.5%)	-

【嗜好品の摂取場面 (たばこ)】(MA)



■たばこ(n=606)

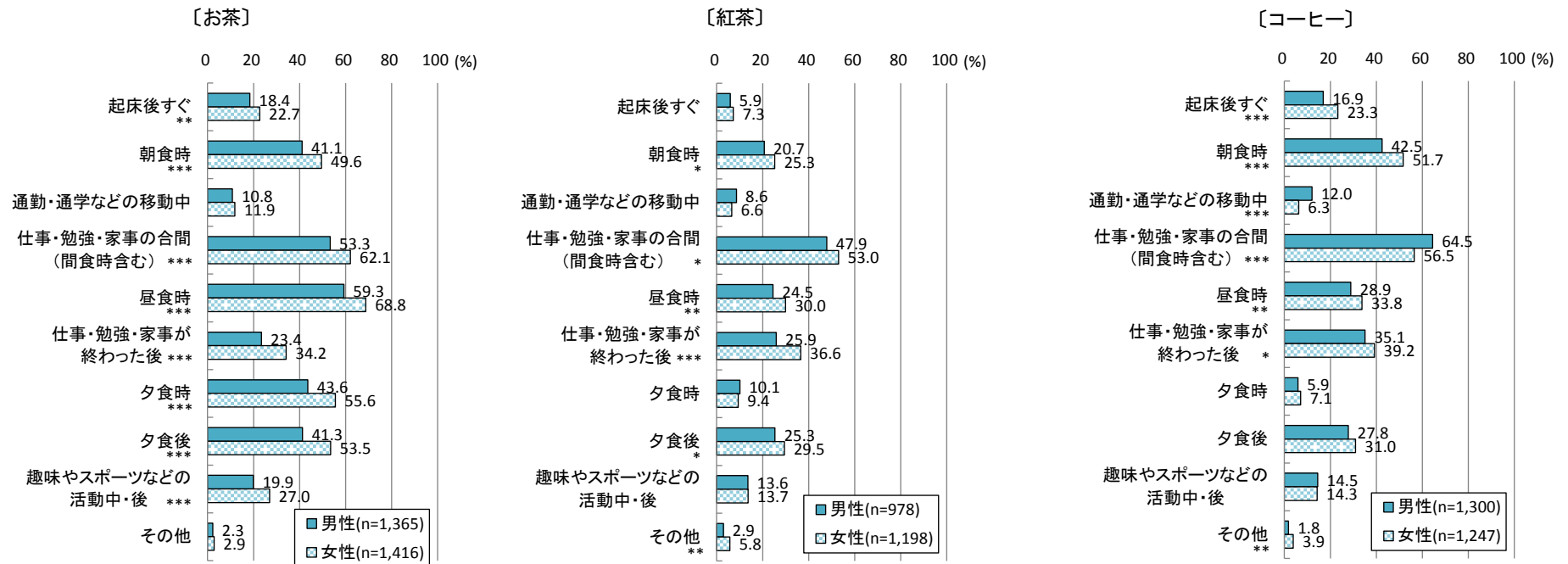
※お茶、紅茶、コーヒーの摂取場面に関する回答の集計結果は、ひとつのグラフにまとめて掲載した。

2. 嗜好品の摂取場面  
 (2) クロス集計：男女別

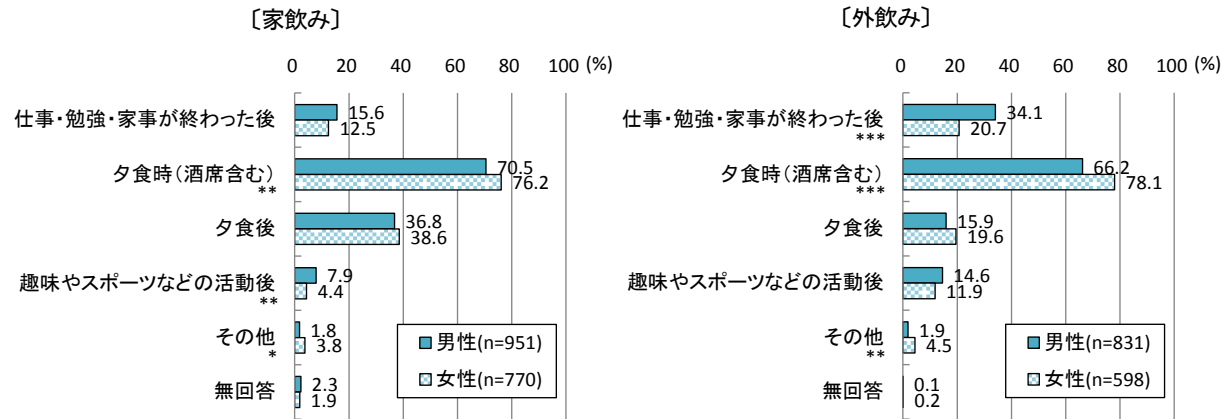
〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕  
 〔たばこを「ほとんど吸わない／全く吸わない」と回答した人を除く回答者について〕

- ・お茶、紅茶、コーヒーを飲む場面について男女別でみると、女性の方が男性よりも、多様な場面で、お茶、紅茶、コーヒーを飲んでいる割合が高い傾向にある（ほとんどの選択肢で、女性は男性よりも回答割合が高い）。
- ・お酒については、男性は女性と比較して、「家飲み」、「外飲み」を問わず、「仕事・勉強・家事が終わった後」、「趣味やスポーツなどの活動後」にお酒を飲んでいる割合が高い傾向にある。一方、女性は男性と比較して、「家飲み」、「外飲み」にかかわらず、「夕食時」、「夕食後」にお酒を飲んでいる割合が高い傾向にある。
- ・たばこについて男女間で10ポイント以上の差がみられるのは、「通勤・通学などの移動中（33.3%、11.6%）」、「仕事・勉強・家事の合間（74.2%、61.4%）」、「昼食後（77.7%、65.2%）」となっている。女性は男性と比較して「起床後すぐ」や「朝食後」における喫煙割合が高い傾向にある。

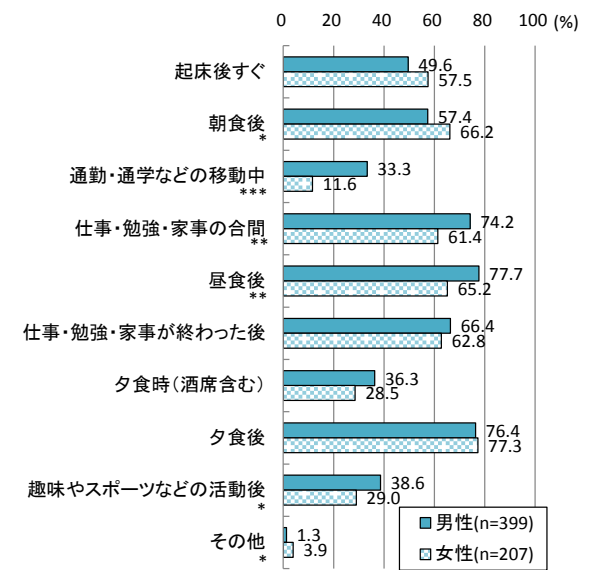
【嗜好品の摂取場面（お茶、紅茶、コーヒー）】  
 男女別（MA）



【嗜好品の摂取場面（お酒）】  
 男女別（MA）



【嗜好品の摂取場面（たばこ）】  
 男女別（MA）

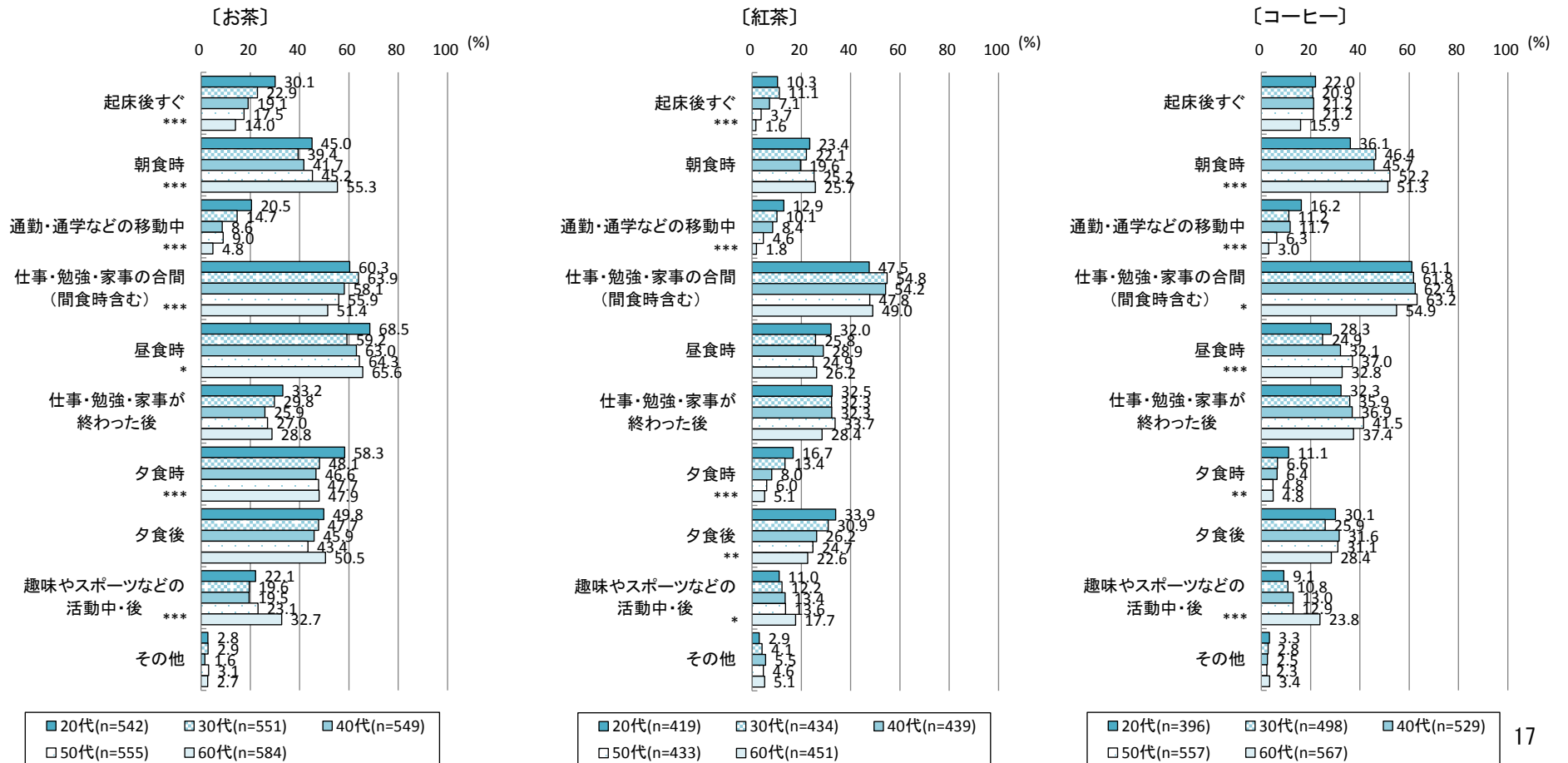


## 2. 嗜好品の摂取場面 (3) クロス集計：年代別

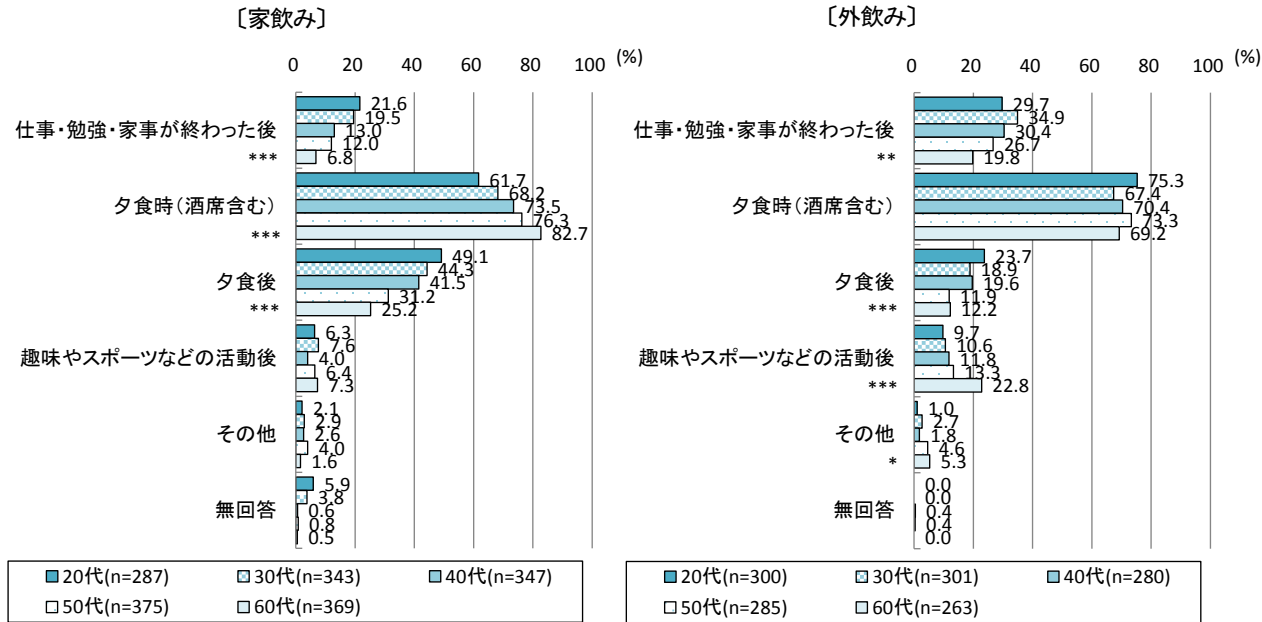
〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕  
〔たばこを「ほとんど吸わない／全く吸わない」と回答した人を除く回答者について〕

- ・お茶、紅茶、コーヒーを飲む場面について年代別でみると、年代が低いほど、「起床後すぐ」や「通勤・通学などの移動中」にお茶、紅茶、コーヒーを飲んでいる割合が高い傾向にある。
- ・お酒については、「家飲み」では、年代が高いほど、「夕食時」に飲酒する割合が高く、「仕事・勉強・家事が終わった後」、「夕食後」に飲酒する割合は低い。「外飲み」については、年代が高いほど、「趣味やスポーツなどの活動後」にお酒を飲む割合が高い。
- ・たばこについては、年代が高いほど、「起床後すぐ」、「朝食後」、「夕食後」に喫煙する割合が高い傾向にある。

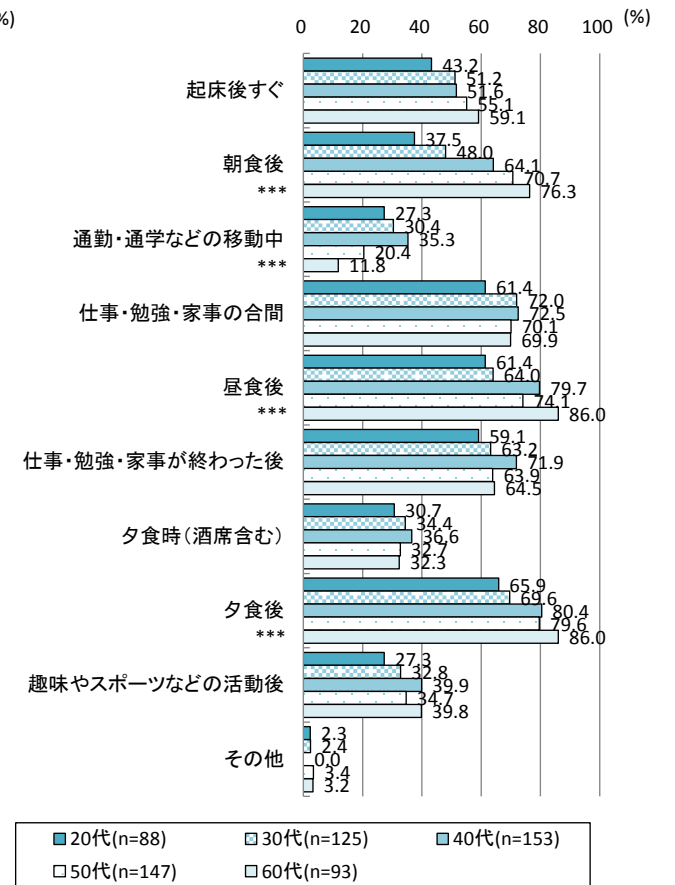
【嗜好品の摂取場面（お茶、紅茶、コーヒー）】  
年代別（MA）



【嗜好品の摂取場面（お酒）】  
 年代別（MA）



【嗜好品の摂取場面（たばこ）】  
 年代別（MA）



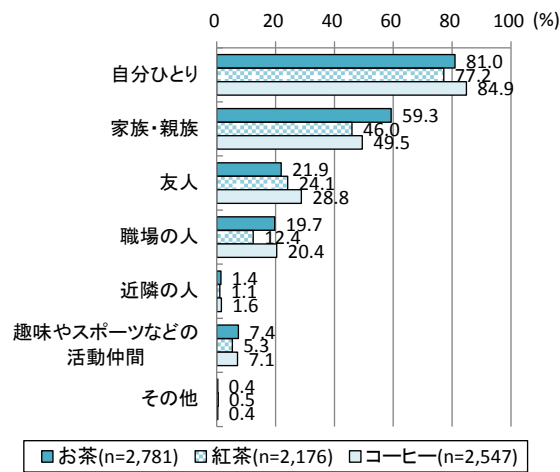
### 3. 嗜好品を一緒に摂取する相手 (1) 単純集計

〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

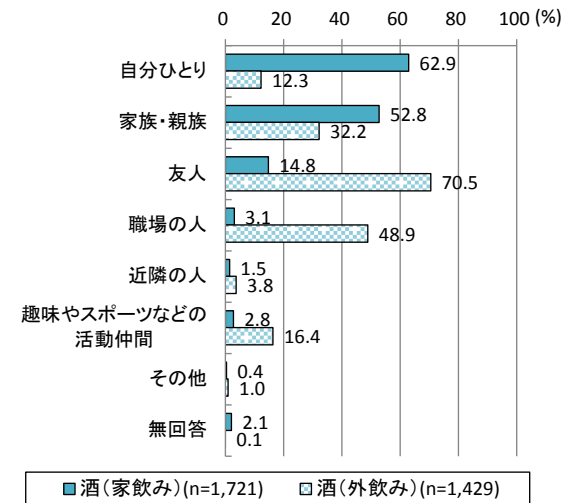
※本調査では、たばこについて「一緒に摂取（喫煙）する相手」を問う質問は設けていない。

- お茶、紅茶、コーヒーを一緒に飲む相手は、いずれも「自分ひとり」が最も多い (81.0%、77.2%、84.9%)。次いで、「家族・親族」、「友人」、「職場の人」が続いている。
- お酒を一緒に飲む相手について、「家飲み」と「外飲み」とで分けると、家飲みでは「自分ひとり (62.9%)」、「家族・親族 (52.8%)」の割合が高い。一方、外飲みでは「友人 (70.5%)」、「職場の人 (48.9%)」とお酒を飲む割合が高い。

【嗜好品を一緒に摂取する相手  
 (お茶、紅茶、コーヒー)】(MA)



【嗜好品を一緒に摂取する相手 (お酒)】(MA)



※お茶、紅茶、コーヒーを一緒に摂取する相手に関する回答の集計結果は、ひとつのグラフにまとめて掲載した。

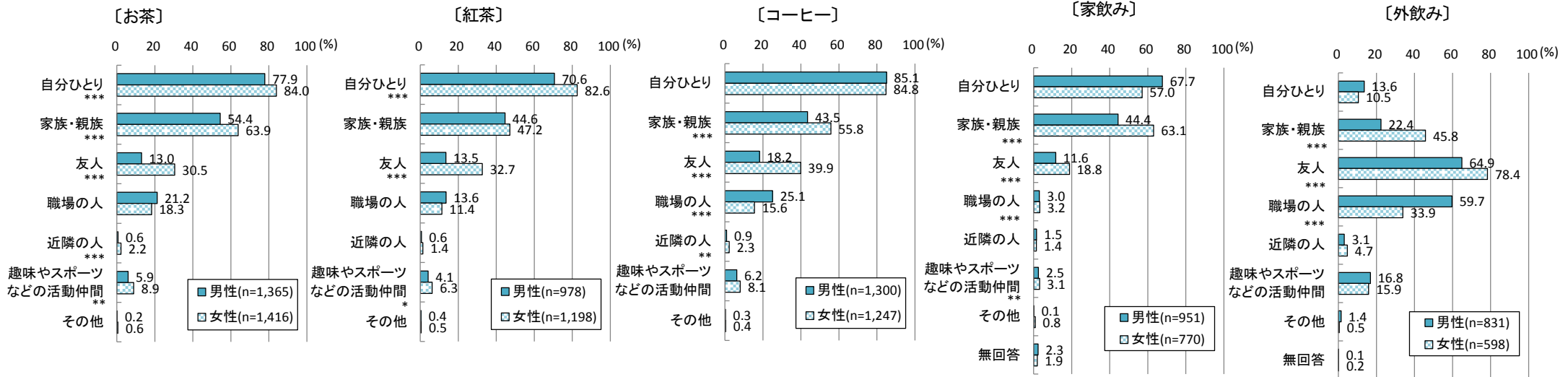
3. 嗜好品を一緒に摂取する相手  
 (2) クロス集計：男女別

〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

- ・お茶、紅茶、コーヒーを一緒に飲む相手について男女別で見ると、男女ともに「自分ひとり」が最も多い。また、女性は男性と比較して「友人」とお茶、紅茶、コーヒーを飲んでいる割合が高い。
- ・お酒については、「家飲み」では、男女ともに「自分ひとり」で、または「家族・親族」と一緒にお酒を飲んでいる割合が高い。「外飲み」では、男女ともに「友人」が最も多い。
- ・また、「外飲み」では、男性は女性と比較して「職場の人 (59.7%)」と、女性は男性と比較して「家族・親族 (45.8%)」とお酒を飲む割合も高い。

【嗜好品を一緒に摂取する相手（お茶、紅茶、コーヒー）】  
 男女別 (MA)

【嗜好品を一緒に摂取する相手（お酒）】  
 男女別 (MA)





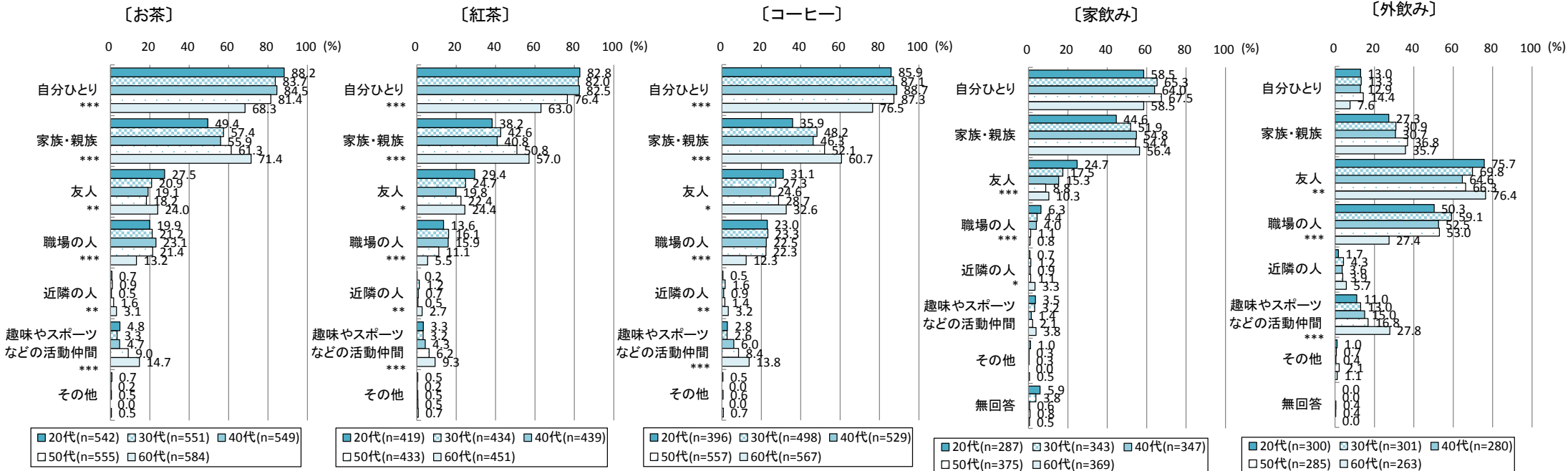
3. 嗜好品を一緒に摂取する相手  
 (3) クロス集計：年代別

〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

- ・お茶、紅茶、コーヒーを一緒に飲む相手について年代別で見ると、お茶、紅茶、コーヒーいずれも、50代、60代は他の年代と比較して「家族・親族」、「趣味やスポーツなどの活動仲間」と摂取する割合が高い。
- ・お酒については、「外飲み」では、すべての年代において「友人」が第1位であり、特に20代、60代は、他の年代と比較して、その割合が高い。また、20～50代は「職場の人」と飲酒する割合も高い。

【嗜好品を一緒に摂取する相手（お茶、紅茶、コーヒー）】  
 年代別（MA）

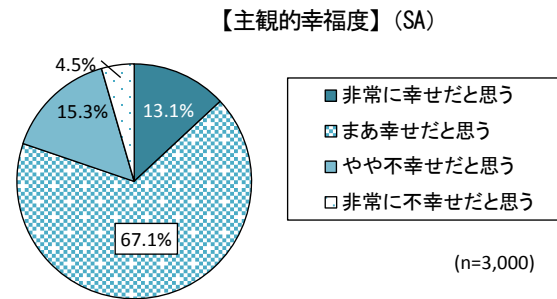
【嗜好品を一緒に摂取する相手（お酒）】  
 年代別（MA）



### 3. 嗜好品を一緒に摂取する相手 (4) クロス集計：主観的幸福度別

※ 本調査においては、「自分がどの程度幸せだと思うか（回答者の主観的幸福度）」をたずねる質問を設けた（結果は下の円グラフ）。  
本資料では、当該結果をクロス集計の分析軸として、「3. 嗜好品を一緒に摂取する相手」とのクロス分析を行った結果を掲載する。

- ・主観的幸福度については、80.2%が「幸福である」と回答している（「非常に幸せだと思う（13.1%）」と「まあ幸せだと思う（67.1%）」の合計）。

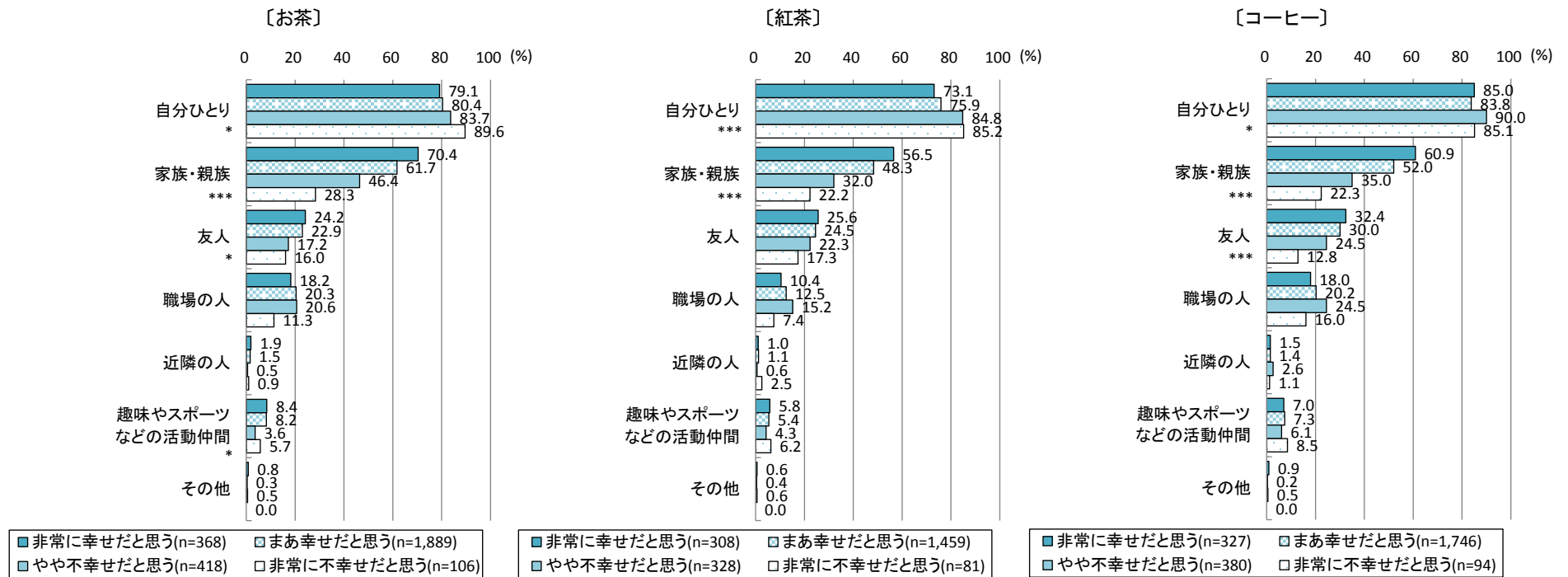


〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕

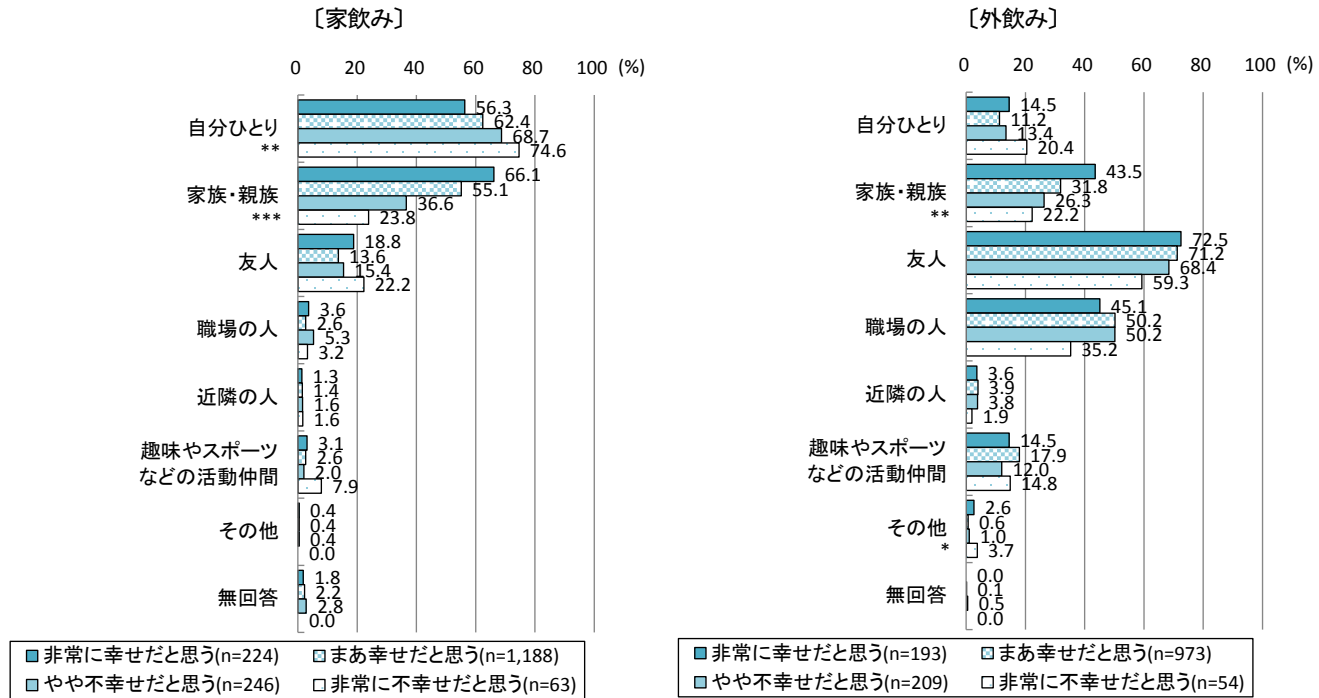
※ 各嗜好品を一緒に摂取する相手について、主観的幸福度別にみたのが以下のグラフである。

- ・お茶、紅茶、コーヒーを一緒に飲む相手については、主観的幸福度別のいずれの選択肢においても、第1位が「自分ひとり」、第2位が「家族・親族」となっており、単純集計の結果 (P19) と同様である。
  - ・「幸せ」と感じている（「非常に幸せだと思う」と「まあ幸せだと思う」の合計）人の回答に着目すると、「家族・親族」や「友人」と、お茶、紅茶、コーヒーを飲んでいる割合が高い傾向にある。
  - ・お酒についても、「幸せ」と感じている人は、「家飲み」、「外飲み」ともに「家族・親族」とお酒を飲んでいる割合が高い。
- ※ただし、主観的幸福度を分析軸とした今回の結果から、「家族・親族と一緒に嗜好品を摂取する人は幸せ」、「自分ひとりで嗜好品を摂取する人は不幸せ」と読み取ることはできないため、注意が必要である。

【嗜好品を一緒に摂取する相手（お茶、紅茶、コーヒー）】  
 主観的幸福度別 (MA)



【嗜好品と一緒に摂取する相手（お酒）】  
 主観的幸福度別（MA）



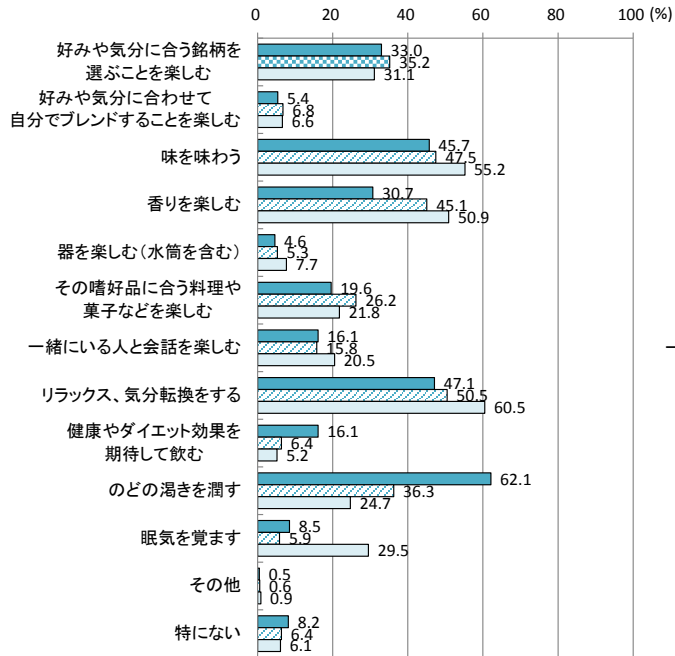
## 4. 嗜好品の楽しみ方

### (1) 単純集計

【月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について】 【月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について】  
 【月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について】 【月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について】  
 【たばこを「ほとんど吸わない/全く吸わない」と回答した人を除く回答者について】

- お茶、紅茶、コーヒーの楽しみ方をみると、お茶は「のどの渇きを潤す(62.1%)」、紅茶とコーヒーは「リラックス、気分転換をする(50.5%、60.5%)」が最も多い。
- お茶、紅茶、コーヒーに共通している楽しみ方として、「リラックス、気分転換をする」や「味を味わう」、「香りを楽しむ」、「好みや気分に合う銘柄を選ぶことを楽しむ」などがあがっている。また、コーヒーについては「眠気を覚ます」の割合も高い。
- お酒の楽しみ方を「家飲み」と「外飲み」で分けてみると、「家飲み」では「リラックス、気分転換をする(57.7%)」、外飲みでは「一緒にいる人と会話を楽しむ(70.2%)」が最も多い。
- 喫煙の楽しみ方については、「リラックス、気分転換をする(66.7%)」が最も多く、「味を味わう(38.6%)」、「コーヒーやお酒と一緒に味わうことを楽しむ(38.6%)」が続いている。

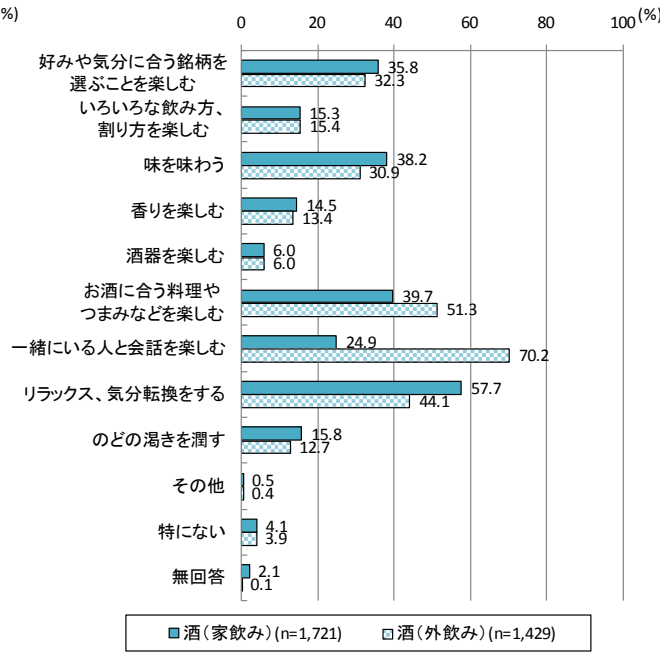
【嗜好品の楽しみ方(お茶、紅茶、コーヒー)】(MA)



■お茶(n=2,781) ■紅茶(n=2,176) ■コーヒー(n=2,547)

	お茶	紅茶	コーヒー
第1位	のどの渇きを潤す(62.1%)	リラックス、気分転換をする(50.5%)	リラックス、気分転換をする(60.5%)
第2位	リラックス、気分転換をする(47.1%)	味を味わう(47.5%)	味を味わう(55.2%)
第3位	味を味わう(45.7%)	香りを楽しむ(45.1%)	香りを楽しむ(50.9%)

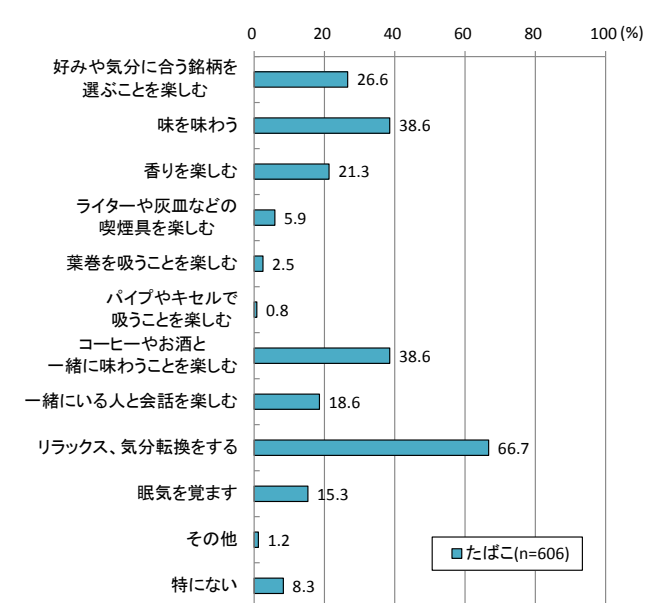
【嗜好品の楽しみ方(お酒)】(MA)



■酒(家飲み)(n=1,721) ■酒(外飲み)(n=1,429)

	家飲み	外飲み
第1位	リラックス、気分転換をする(57.7%)	一緒にいる人と会話を楽しむ(70.2%)
第2位	お酒に合う料理やつまみなどを楽しむ(39.7%)	お酒に合う料理やつまみなどを楽しむ(51.3%)
第3位	味を味わう(38.2%)	リラックス、気分転換をする(44.1%)

【嗜好品の楽しみ方(たばこ)】(MA)



■たばこ(n=606)

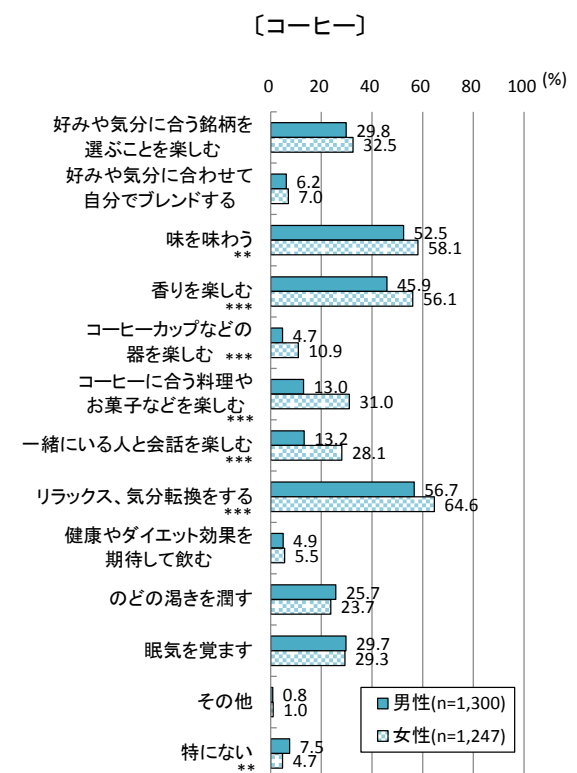
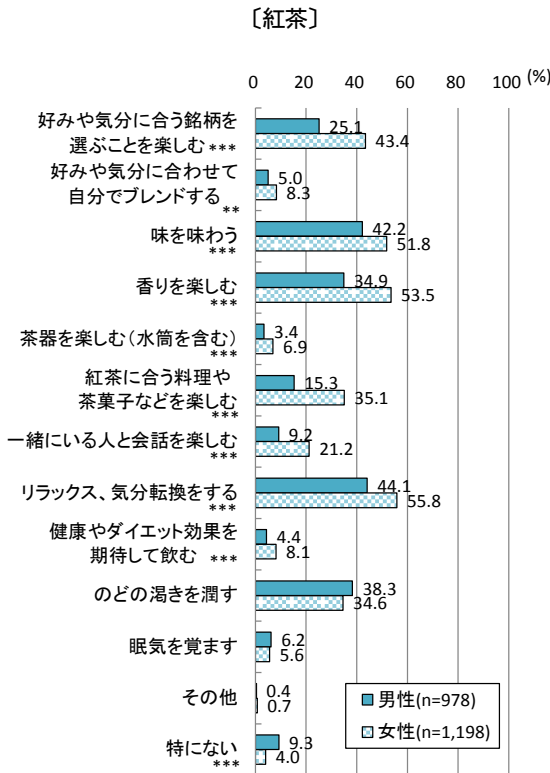
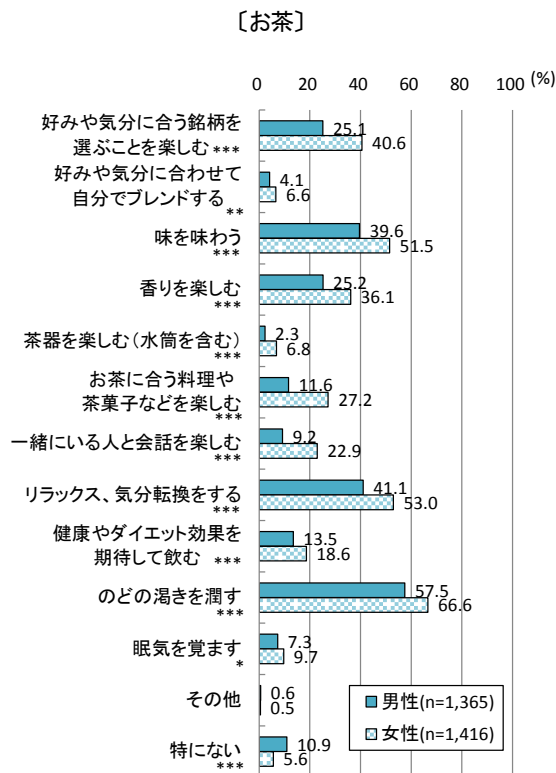
※お茶、紅茶、コーヒーの楽しみ方に関する回答の集計結果は、ひとつのグラフにまとめて掲載した。

4. 嗜好品の楽しみ方  
 (2) クロス集計：男女別

〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕  
 〔たばこを「ほとんど吸わない／全く吸わない」と回答した人を除く回答者について〕

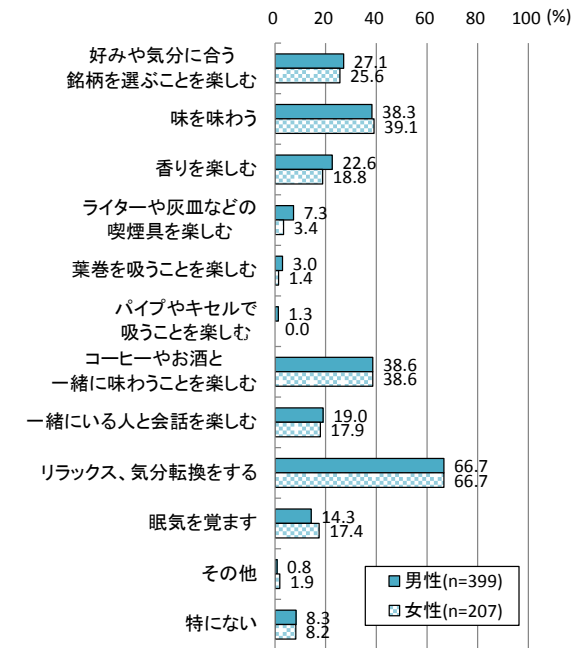
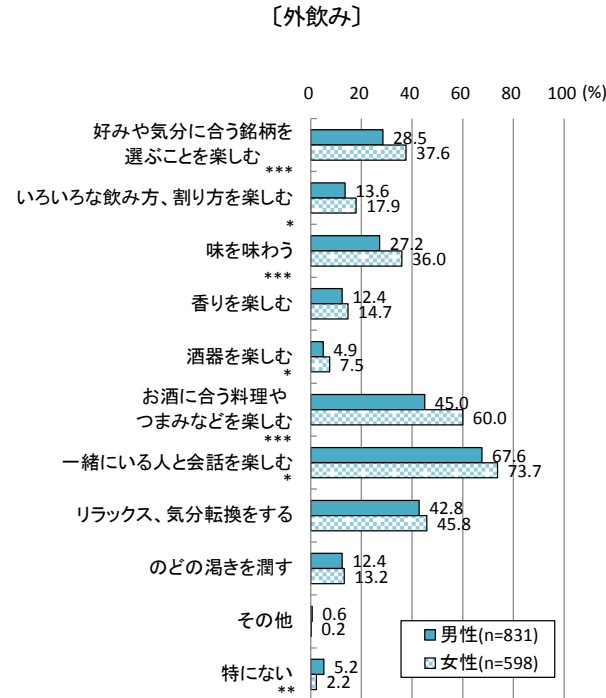
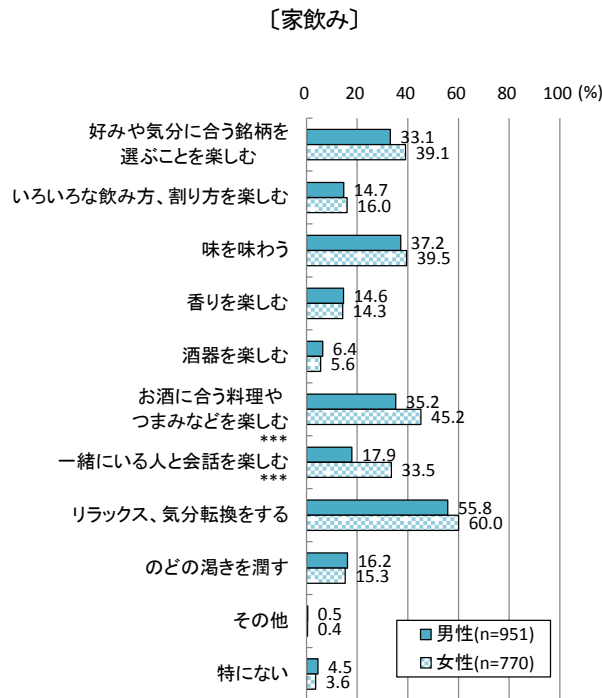
- ・お茶、紅茶、コーヒーの楽しみ方について男女別でみると、女性の方が、男性よりも、お茶、紅茶、コーヒーいずれにおいても、多様な楽しみ方を持っている（ほとんどの選択肢で、女性は男性よりも回答割合が高い）。
- ・お酒についても、お茶、紅茶、コーヒーと同様に、女性の方が、男性よりも、「家飲み」、「外飲み」いずれにおいても、多様な楽しみ方を持っている。
- ・たばこについては、すべての項目で統計的有意差はみられない。男女間で違いがみられる項目として、男性は女性と比較して、「好みや気分にあう銘柄を選ぶことを楽しむ（27.1%）」、「香りを楽しむ（22.6%）」、「一緒にいる人と会話を楽しむ（19.0%）」、「ライターや灰皿などの喫煙具を楽しむ（7.3%）」などの割合が高いことがあげられる。また、女性は男性と比較して「眠気を覚ます（17.4%）」が高い割合となっている。

【嗜好品の楽しみ方（お茶、紅茶、コーヒー）】  
 男女別（MA）



【嗜好品の楽しみ方（お酒）】  
 男女別（MA）

【嗜好品の楽しみ方（たばこ）】  
 男女別（MA）



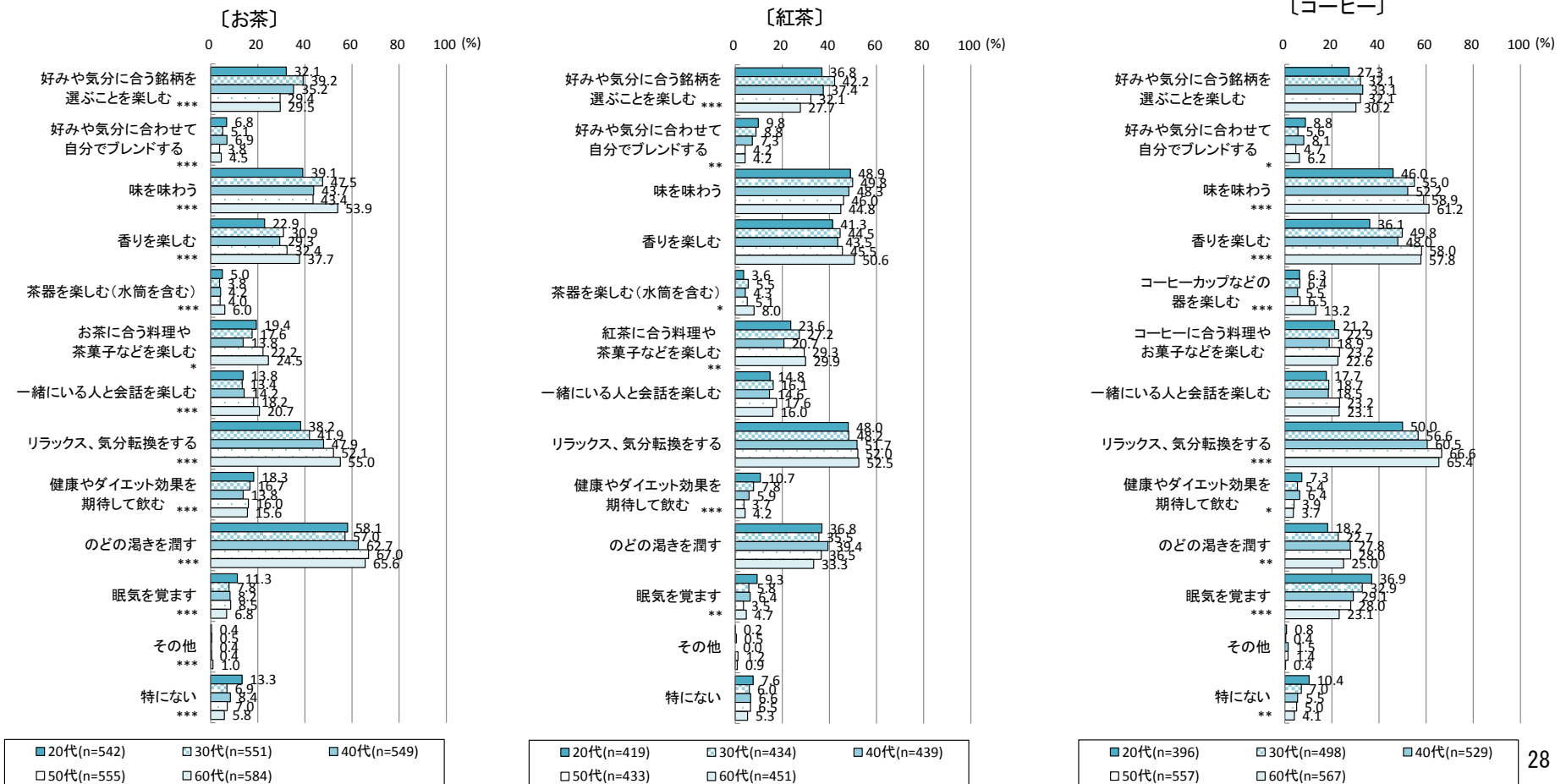
## 4. 嗜好品の楽しみ方

### (3) クロス集計：年代別

〔月に1～3回以上、お茶を飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、紅茶を飲むと回答した人について〕  
 〔月に1～3回以上、コーヒーを飲むと回答した人について〕〔月に1～3回以上、お酒を飲むと回答した人について〕  
 〔たばこを「ほとんど吸わない/全く吸わない」と回答した人を除く回答者について〕

- お茶、紅茶、コーヒーの楽しみ方について年代別でも、単純集計（P25）に共通してみられた傾向と同様に、「リラックス、気分転換をする」、「味を味わう」、「香りを楽しむ」、「好みや気分合う銘柄を選ぶことを楽しむ」などの割合が高い。
- お酒については、「家飲み」、「外飲み」に共通して、年代が高いほど「リラックス、気分転換をする」や「お酒に合う料理やつまみなどを楽しむ」の割合が高い傾向にある。また、「外飲み」では、年代が高いほど、「一緒にいる人と会話を楽しむ」の割合も高い傾向にある。
- たばこについては、年代が高いほど、「リラックス、気分転換をする」の割合が高い。

【嗜好品の楽しみ方（お茶、紅茶、コーヒー）】  
年代別（MA）





【嗜好品の楽しみ方（お酒）】  
 年代別（MA）

【嗜好品の楽しみ方（たばこ）】  
 年代別（MA）

